

ヤ イ サ マ ネ ナ  
YAYSAMANENA ヤイサマ(即興歌、叙情歌)

(2) チ カ ヲ タ ク ネ  
CIKAP TA KU=NE 鳥になりたい  
レ ラ タ ク ネ  
RÉRA TA KU=NE 風になりたい

サ タ モ  
Satamo 平賀サダ(サダモ)((福満))

ヤイサマネナ yaysamanena	1	ヤイサマネナ	
ヤイサマネナ yaysamanena	2	ヤイサマネナ	
ヤイサマネナ yaysamanena	3	ヤイサマネナ	
チカッ タ クネ、 cikap ta ku=ne,	4	鳥になりたいなあ、	4-5) ...ta ... ..タ...は、かなえられそうもない強い願望の言い方。
レラ タ クネ。 5 réra ta ku=ne.	5	風になりたいなあ。	
タバン テ ワノ tapan te wano	6	ここから	6) 韻文の表現。話し言葉では通常 te wano テワノ。
クキホプニ、 ku=ki-hopuni,	7	飛んで行き、	7) 直訳すると《私が・する・飛行》。ただ普通に ku-hopuni クホプニと言うよりも強い。
クコロ コタヌン ku=kor kotan un	8	わたしの村へ	8) ku=kor kotan クコロコタン 《私が所有する村=私の村》は、村長の言う言い方にもなる。《私の故郷》の意味では、話すときには ku=kotanu クコタヌンと言うほうが普通である。
クアラッ ルスイ。 ku=arpa rusuy.	9	行きたい。	9) ku=arpa クアラッは話し言葉では k=arpa カラッ。
タナント オッタ 10 tananto or ta	10	きょう	10) 話し言葉では tanto タント。
クコロ ヘカッター ku=kor hekattar	11	私の子どもたちは	

ネコン ヤイヌ コロ nékon yaynu kor	12	どう思い	12-13) この方言では nékon ネコン《どのように》は韻文で使われ、話し言葉では makanak マカナクあるいは mak マクと言う。
ネコン イキ コロ nékon iki kor	13	どう過ごして	
オカ ナンコラ? oka nankora?	14	いるかしら。	14) nankora ナンコラは nankor ya ナンコロヤ《だろ う・か》が続けて発音された形。
クコロ ヘカッタラ ku=kor hekattar	15	わたしの子どもたち	
[ウ]ケント アン コロ 5 [u]kesto an kor	16	毎日毎日	16) 韻律上 uウ を入れている。これでこの行は5音節になってリズムに乗る。
クエシカルン ku=esikarun	17	恋しい	17) 話し言葉では k=ésikarun ケシカルン または k=eskarun ケシカルン。
クヌカン ルスイ。 ku=nukar rusuy.	18	会いたい。	18) 17行目の言い換えである。類義の語句を重ねる対句は、韻文や美文調の話でよく使われる手法である。
ホイ ヤ ホイ[ア] hoy ya hoy[a]	19	ホイヤーホイ	
タネ ネ クス tane ne kusu	20	いまは	
10 ホイ ヤ ホイ hoy ya hoy	21	ホイヤーホイ	
ヤイサマネナ yaysamanena	22	ヤイサマネナ	
ネコン クイエ ヤ(ツカ) nékon ku=ye ya(kka)	23	なんとと言っても	23) 字余りのため yakka ヤツカの最後の部分を落としている。
タパヌシケ タ tapan uske ta	24	この場所に	
クアン マ ネ コロ ku=an wa ne kor	25	いる以上	
クコロ ヘカッタラ 15 ku=kor hekattar	26	私の子どもたちに	
クヌカン ルスイ ku=nukar rusuy	27	会いたくは	
アナク キ コロカ anak ki korka	28	あるけれど	
レラ ヘ クネ réra he ku=ne	29	私は風でもなければ	29-30) 直訳すると《風・か・(私は)である、鳥・か・(私は)である》、つまり《私は風か、私は鳥か》という反語表現である。出だし(4-5行目)の cikap ta ku=ne/ réra ta ku=ne チカフタクネ/レラタクネ《鳥になりたいなあ/風になりたいなあ》と呼応している。
チカフ ヘ クネ cikap he ku=ne	30	鳥でもない。	

クアッパ ルスイ。 ku=arpa rusuy.	31	行きたい。
ホレ ホイ hore hoy	32	ホレホイ
サマネナ samanena	33	サマネナ
ヤイサマネナ yaysamanena	34	ヤイサマネナ
ヤイサマネナ s yaysamanena	35	ヤイサマネナ
ホイ ヤ ホイ hoy ya hoy	36	ホイヤーホイ
ハイ ハイ ハイ hay hay hay	37	ハイ ハイ ハイ

ワテケ：

Wáteke:

ア ウェンコ ウェンコ ヘタッ!

a wenko wenko hetap!

ワテケ：

ア、すばらしい、すばらしい、  
よいやさ!

38) 聞き手のワテケ  
(鳩沢ふじの)さんが  
称讃の言葉でしめく  
くっている。

cikap ta ku=ne/réra ta ku=ne チカパタ クネ/レラ タ クネ《鳥になりたいなあ、風になりたいなあ》という句は、いろいろな恋歌によく出てくるテーマである。この歌では、働きに出ている母親が故郷に残してきた子どもたちを思って歌う歌になっている。

実は、この歌には「もとうた」があった。沙流地方の人々に好まれて広く歌われていた歌で、若者が愛する娘を思って、平取から浦河まで、道産子とよばれる小さい馬に乗って行きながら歌ったものだと、サダモさんたちは言う。調子がよく、ポンポンと跳ねるような軽快なリズムは、馬のパカパカと走るのに合わせたものであろう。明るいメロディーで、テンポが早く、シンコーションが多く、元気な若者らしい歌である。もと歌では ku=kor ponmenoko クコロ ポンメノコ《私の若い女性》と言ったのを ku=kor hekattar クコロ ヘカッタラ《私の子どもたち》と言い換えて歌ったのだと言う。即興詩の形をとった、民謡の替え歌、といったところである。

【類歌】「鳥になりたい、風になりたい」というテーマを持つ叙情歌は多い。次の歌のあとの「類歌」を参照。

ヤイサマネナ  
YAYSAMANENA

ヤイサマ(即興歌、叙情歌)

チカフ タ クネ  
(2) CIKAP TA KU=NE  
レラ タ クネ  
RERA TA KU=NE

鳥になりたい

風になりたい

歌 平賀サダ(サダモ)  
採譜 田村すず子  
修正清書 奥田統己

♩ = 112

yay-sa-ma-ne-na yay-sa-ma-ne-na yay-sa-ma-ne-na ci-ka-p ta ku-ne,  
ré-ra ta ku-ne, ta-pa-n te wa-no ku-ki ho-pu-ni, ku-ko-r ko-tan u-n  
ku-a-r pa ru-suy. ta-na n-to o-t-ta ku-ko-r he-kat-tar né-kon ya-y nu kor  
né-ko-n i-ki ko-r o-ka na n-ko-ra? ku-ko-r he-kat-tar u kes-to an kor  
ku-e sí-ka-run ku-nu-ka-n ru-su-y. ho-y ya hoy a ta-ne ne ku-su  
ho-y ya ho-y yay-sa-ma-ne-na né-kon ku-ye yak-ka ta-pa-n us-ke ta  
ku-a-n' ma ne kor ku-ko-r he-kat-tar ku-nu-ka-n ru-su-y a-na-k ki kor-ka  
ré-ra he ku-ne, ci-ka-p he ku-ne, ku-a-r pa ru-su-y. ho-re ho-y  
sa-ma-ne-na yay-sa-ma-ne-na yay-sa-ma-ne-na ho-y ya hoy hay  
hay hay